

## アツヴィ合同会社

### 夢をテーマとした、早産児おひるねアートフォトコンテスト受賞作品、計4作品を発表

アツヴィ合同会社（本社：東京都港区、社長：ジェームス・フェリシアノ）は、早産児<sup>\*1</sup>のご家族を対象とした「スモールベビーおひるねアートフォトコンテスト」<sup>\*2</sup>の大賞作品1作品および優秀賞3作品、計4作品が決まりましたので、発表します。

本コンテストは、早産児のご家族が“夢”をテーマとしたおひるねアート写真を通じて、子育てにおける日々の不安を乗り越え、前向きになっていただくことを目的に開催いたしました。受賞作品は、2015年9月15日から12月24日までの応募期間に頂いた全応募作品から、昭和大学江東豊洲病院 小児内科 教授 水野克己先生、おひるねアート協会 代表理事 青木 水理さん、チャイルド・ボディー・セラピスト 蛭原英里さんの3名の審査員による審査会を経て、決定しました。



日本では赤ちゃんの20人に1人以上が早産で生まれている<sup>\*3</sup>といわれており、年々その割合は増えています。早産児のご家族は、赤ちゃんを授かった喜びと同時に、お子さまの成長・発達や感染症の罹患など、さまざまな不安に直面します。審査員のお一人である昭和大学江東豊洲病院 小児内科 教授 水野克己先生は、「ご応募いただいたみなさんがどのような思いでこのおひるねアート写真を撮られたのか想像するだけで胸が詰まります。思っていたよりもかなり早く出産を迎え心の準備もできないままにわが子と対面する・・・わが子との歩みはとても大変な出だしたことでしょう。そのような状況でもまわりのサポートを受けながら、夢を抱いてわが子と向き合ってきたお母さま・お父さま方の愛と強さとやさしさがおひるねアートに込められていました。日本中の子育て中のご両親にもぜひ見ていただきたい・・・夢をもって前を向いて一日一日を大切なわが子とともに笑顔で歩んでください。」と述べています。

早産児は母親から十分な抗体（免疫）を受け取る前に生まれたため、感染症への抵抗力が低いことがあります。しかし、早産児の感染症による重症化のリスクは、社会において十分に認知されておりません。そこで弊社は、RSウイルス感染症の重症化を防ぐ注射薬シナジス<sup>®</sup>（一般名：パリピズマブ）の発売10周年を機に、早産児がかかりやすい感染症の一つであるRSウイルス感染症の啓発活動をスタートしました。2012年には早産児のご家族より「わが子の成長を感じた瞬間」の写真とエピソードを募集した「スモールベビーフォトブック」プロジェクトを展開し、新たに「スモールベビーおひるねアートフォトコンテスト」を実施することで、早産児の感染症による重症化リスクを啓発する活動を継続してまいります。

なお、本コンテストの応募作品は、弊社が主催する早産児育児ポータルサイト「スモールベビー.com」内の「スモールベビーオンラインギャラリー」<sup>\*4</sup>にて、5月23日より公開を予定しております。また、審査員による選考作品を収めた「スモールベビーおひるねアートフォトブック」を、全国の小児科医院、産婦人科医院、NICU等にて配布する予定です。

アツヴィ合同会社は、今後も新生児領域に携わるバイオ医薬品企業として、さまざまな不安を抱えながらも、お子さまの成長を温かく支える早産児のご家族へのサポートを続けてまいります。

\*1: 妊娠37週未満で産まれたお子さん

\*2: 「スモールベビーおひるねアートフォトコンテスト」および他作品の詳細は、アツヴィ合同会社の早産児育児ポータルサイト「スモールベビー.com」<[www.small-baby.com](http://www.small-baby.com)>をご参照ください。

\*3: 厚生労働省「人口動態統計」より

\*4: 「スモールベビーオンラインギャラリー」は、「スモールベビー.com」内のオンラインギャラリー特設ページ<<https://www.small-baby.com/smallbaby-onlinegallery/>>よりご覧いただけます。

## 「スモールベビーおひるねアートフォトコンテスト」大賞

### 作品名「夢はすぐそこに」

松本 麗子さん（埼玉県）



### <受賞コメント>

毎日慌ただしく過ごしていて、生まれたときの事を振り返る機会はなくなっていました。ただ生きてほしいと強く願った事、わが子を胸に抱く姿を保育器越しに思い描いていた事、一緒に歩く事は夢物語だと思っていた事。今回のコンテストに参加させていただいて、今では当たり前のような日々が、当時の私たちにとっては奇跡のような毎日なのだと思わされました。そして、今回大賞を頂けると聞いて、早産児だから経験できた喜びがまたひとつ増えたとうれしく思っています。スモールベビーは、ママや家族を大好きな気持ちが人一倍強く、人より早く出てきたのだと信じています。かけがえのない日々を大切に、笑顔で過ごしていきたいです。

## 「スモールベビーおひるねアートフォトコンテスト」優秀賞（順不同）

### 作品名「壁を打ち破る強さを」

さくらさん（兵庫県）



#### <受賞コメント>

早産での出産。他の子と比べて小さいわが子でとても不安でした。だからこそ「強く育てほしい。」という気持ちは人一倍。そんな思いを込めた作品です。ご評価いただきうれしいです。おひるねアートは初めての挑戦でした。なかなかイメージ通りにいかないし、起きてグチャグチャに。彼が大きくなったら「ママめげずに頑張ったよ」というエピソードの一つにしたいです。このような機会を頂きありがとうございます。本当に小さかったわが子が、今では大人のお茶わん一杯食べてくれます。食べ過ぎで心配になるほどです。元気に食べる姿を見る度に感動します。同じような早産児のご両親は心配されるかもしれませんが、その分ぐんぐん成長するので温かく見守ってね。

### 作品名「宇宙ヘレッツゴー！」

新谷 杏奈さん（富山県）



#### <受賞コメント>

「どんなことを伝えよう」と考え、身近なものを使って楽しみながら撮った1枚。すてきな賞を頂けてうれしいです。フォトコンテストに参加して、今しか見られない“今”の姿をこれからも写真に残していきたいなと思いました。そして、子どもが大きくなったときに写真を見ながらその時のことを笑って話したら幸せだな~と思います。早産児のご家族のみなさん、はやく産まれてきたぶん、たくさん抱きしめてたくさん話しかけて、わが子との生活をおもいきり楽しみましょうね！

### 作品名「わが家のカンガルーちゃん。どんな夢を見ているのかな」

うーさん（埼玉県）



#### <受賞コメント>

おひるねアートフォトコンテストを知ったのは、息子がまだNICUに入院している時でした。元気に退院したら応募して一緒に思い出を作ろうと心に決めながら毎日面会をしていました。息子は約半年NICUとGCUに入院しました。穏やかな日々ばかりではありませんでしたが、元気に笑顔で退院することができました。私はこれからも息子を早く産んだということを心のどこかで思い続けながら日々生きていくと思います。それでも今そばにいられること、抱きしめてあげたいときに抱きしめてあげられることがこんなに幸せなんだ。生まれた時、どんなに小さくても今、家族のそばで力いっぱい生きているんだよ、という思いを作品に込めました。

## アッヴィについて

アッヴィは、アボットラボラトリーズからの分社を経て2013年に設立された、研究開発型のグローバルなバイオ医薬品企業です。専門知識や献身的な社員・イノベーション実現に向けた独自の手法を通じて、世界で最も複雑かつ深刻な疾患領域における先進的な治療薬を開発・提供することをミッションに掲げています。アッヴィは、100%子会社のファーマサイクリクス社を含めて世界で2万8000人以上を雇用し、170カ国以上で医薬品を販売しています。当社の概要や人材・製品群・コミットメントに関する詳細は[www.abbvie.com](http://www.abbvie.com)をご覧ください。よろしければTwitterアカウント@AbbVieもフォローください。また、人材情報はFacebookやLinkedInページをご参照ください。

日本においては、アッヴィ合同会社の900人の社員が、医療用医薬品の研究・開発や販売に従事しています。自己免疫疾患・新生児・肝疾患・ニューロサイエンスの各領域を中心に、患者さんの生活に大きく貢献できることを願っています。詳しくは、[www.abbvie.co.jp](http://www.abbvie.co.jp)をご覧ください。